科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学DP	学科DP	学習成果
工業簿記および原価計算	藤田　美咲	講義	2		1,2,3	1,2,5	2,3,4

授業概要 授業目的	この地域を支える製造業における取引の記録システムである工業簿記と、製品原価の計算について理解することを目的とします。 日本商工会議所簿記検定2級の工業簿記レベルの実力を修得する土台として、主に原価計算の手法を中心に説明します。
到達目標	原価計算の基本として、個別原価計算と総合原価計算を習得し、併せてその帳簿記入も理解する。

回	学習内容
1	ガイダンス、原価とは
2	工業簿記の基礎概念、勘定連絡
3	材料費、労務費
4	経費、予定消費単価、予定賃率
5	個別原価計算
6	製造間接費の予定配賦、差異分析
7	部門別個別原価計算
8	単純総合原価計算
9	仕損品が存在する場合
10	工程別総合原価計算
11	組別総合原価計算、等級別原価計算
12	財務諸表の表示、本社工場会計
13	直接原価計算
14	CVP分析
15	確認テストおよびまとめ

予習内容 復習内容	予習;前回内容を振り返り、今回内容の前提を確認しておいて下さい。 復習;授業中に扱った問題をもう一度解きなおして下さい。
教科書	(テキスト)「合格テキスト　日商簿記2級　　工業簿記」 TAC出版
成績評価	出席は毎回とります。 全授業回数の3分の1を超えて欠席すると、評価の対象外とします。 試験80%に平常点(出席状況、講義中の態度)20%を加味して判定します。
実務経験	公認会計士としての監査法人勤務経験があり、現在は税理士として税理士法人に勤務。当該実務経験をもとに実際の企業における会計実務や管理会計の状況、経営手法や現代企業における課題などについても織り交ぜます。
その他 特記事項	講義には電卓をご用意ください。 本講義は簿記3級程度の基本的な簿記の知識があることを前提としております。